

支援員スキルアップ研修会 報告書

2025.1.5

担当:大野 文

日 程 2024 年12月7日(土) 14:00~15:30

会 場 平塚市漁業協同組合 2階ホール

テーマ 「中学生の進路学習と進路選択」 ~寺子屋の支援員としての関わり方~

講 師 深谷昇平先生 当会顧問

経 費 講師用お茶ペットボトル1本

受講者 平出校長、雨宮、中村、清田、中里、竹原、門馬、鹿子、鈴木真、福本、三谷、横田、大野

支援員合計12名

ふり返りの集計 提出者10/12人

① 受講の動機をお聞かせください。

受験生を担当しているのに、高校受験の仕組みを中途半端な理解だったため、この機会にしっかりと仕組みを理解しておきたいと思った。
最新の中学生の受験に関わる状況を知り、陰ながら応援したいと思った。
担当している中学生の高校受験の仕組みを具体的に知りたかったため。
深谷顧問のお話ということで期待しました。
最近の進学校決定プロセスや太洋中の状況に関し知りたいと思ったので。
支援員として最近の高校入試制度及び中学校生活の状況について理解を深めたく受講した。
事前に内容を把握できていなかったが、懇親会の前の研修会であり、当然参加した。
深谷先生のお話は毎回とてもタイムリー内容なので。
最近の高校受験の実情を全く知らないなので、講師の話に興味があったので。
テーマについて支援員と共有しながら再度理解を深めたいと思い受講しました。

② 研修で学んだことは今後の活動に役立ちますか。また、どのように役立てますか。

全く役立たない0人、あまり役立たない1人、どちらともいえない1人、役立つと思う3人、大いに役立つ5人

調査書の評価135点の意味が初めて理解できた。2・3年生から急に内申を意識して勉強しても間に合わない科目が多い。やはり1年生から3年間を見据えて、本人への意識付けが重要だと思った。様々な問題を抱えている子どもにも、様々な進路の選択肢があることが理解できた。子どもの状況の理解が重要。
直接的に子どもたちから受験相談を受けることはないにしても、理解者にはなれると思う。
合格者の選考に、内申点と学力検査結果が用いられることは分かった。したがって、受験で勝ち残るためには内申点と学力検査で高い点を取ることが必要となる。担当している教科だけでなく、自分が分かる他の教科についても手助けできると良いと思う。
現在小学生を担当していますが、子どもを取りまく環境は私が思っていた以上に大変であることに気付きました。小4から段々難しくなっていくようですので、ここでつまづかないように、勉強が続けられるよう対応していきたいと思いました。
どの様なプロセスで進学校が決まっていくのか、また公立と私立校の違いが分かり参考になった。

最近の高校入試制度の状況や中学校生活の問題点等についてある程度理解が出来たと思いますので、内申点を少しでもあげるべく学習支援を主に、生徒との雑談等を通して学校生活が楽しく送れているか、困りごとは無いか等にも配慮しながら取り組んで行きたいと思います。
担当の中2生徒の、現在の成績が高校受験時の成績の一部となることを改めて実感でき、高校受験を視野に入れた学習支援の重要性を再認識できた。また、様々な学校が特色を持った学習の機会を提供していることを理解できた一方で、現実的に生徒が通える範囲に本人に適した学校があるのだろうかとも思った。今後は、機会を見て受験に関する生徒の意思や希望、中学での受験準備状況についての理解を進めながら学習支援を進めていきたいと思った。
受験は中1,2年の積み重ねと分かってはいたのですが、その時に必要なことを再度確認することができました。声の掛け方も違うと思いました。
小学生担当なので、あまり役に立たないと思いました。
子どもの支援活動を進めるための目的意識を共有できたので、今後の活動に役立てて行きます。

③ 今回の研修の感想や質問、疑問に思ったこと等を自由にお聞かせください。

「中学生の不登校が圧倒的に多い」というお話で、我々は非常に難しい年代の子供達に対応している、という重要性を認識しました。勉強を教えれば良いと思っていたところもありますが、今後少しでも意識するようにします。
深谷先生の、伝えてくださる内容を、少しでも聞き手が理解できるように、たくさんの情報を説明くださって、わかりやすかった。
憲法から始まって、日本国内の教育の成り立ちを具体的に知ることが出来た。また、今の先生方の担当する仕事の内容と量の多さに驚いた。
深谷顧問のお話は、憲法、教育基本法等から現在の教育の実態迄、本当に勉強になりました。
不登校の生徒数が急増して10万人を超えたと説明がありました。これらの生徒は、その後どうなっていくのか？説明された多様性のある高校や大学で、自分にあった道を見つけて行くのか、その後も自分の道を見つけられず、今後さらに引きこもりの人が増加していくのか気になりました。
高校入試選抜の方法は色々変わっても、内申点が重要であることは理解できました。また、学校生活で起こっている様々な問題は社会全体の抱える問題の縮図でもあるとも感じました。生徒たちに、生き生きと接するべき先生たちの肉体的、精神的負荷があまりにも大きくなってきていて、その影響が先生は勿論、生徒たちに及んできているであろうことが心配です。先生方の負荷を減らすために県や市がどのような施策を考えているか知っておきたいと思っています。
受験に関する生徒の意思や希望、中学での受験準備状況を生徒本人から聞くことに努めたいと思うが、中学での受験準備状況や定期試験スケジュールについては可能であれば取りまとめて支援員に展開いただければありがたいと思った。
支援学校高等部を卒業しても高卒にはないことを初めて知りました。
わかりやすい資料を作っていただき、ありがとうございました。楽しくとても為になる講習でした。
お話がおじょうずでとても楽しく話が聞けた。
子どもにとって受験勉強だけが大事な訳ではなく、小学1年生から積み重ねて来た学習や学校生活の経験が、子どもの将来にとってとても重要なことを共に学ぶことができました。
中学校教諭のご苦勞が少しわかりました。

④ 今後の研修会で希望するテーマや開催日時等のご意見をお聞かせください。

経験豊富な先生に、生徒に対する教え方や対応方法を講義してもらえれば、今後教える時に役立つと思います。

今回に準じた内容で毎年もしくは2年に一回程度で最新の状況をお話いただけると有難いと思います。開催日時等については特にありません。

学習教室以外でも、自主学習を効果的に進められるようになるための学習支援スキルを高めたい。場面緘黙などの特徴のある生徒を担当するスキルを高めたい。支援員向け研修会以外でも、外部の研修会や文献を紹介いただければ自学習します。

開催時期は、総会後から夏休み前くらいはどうでしょう。その年度の支援に役立つ研修ができれば効果的だと思います。

時間がもう少し長ければ中学生担当の方の質問に答えていただけたのかも。

こどもの権利や無意識の差別等について、支援員として気をつけたいことを研修したいです。

以上